

帯広病院 21-4111
 白樺医院 38-3500
 ケアセンター白樺 41-1165
 白樺在宅総合センター 41-1167

十勝勤医協 友の会ニュース

医療法人 十勝勤労者医療協会

帯広市西9条南11丁目1番地

0155-21-4718

発行責任者 今野 光昭

URL: <http://www.tokachi-kin-ikyo.or.jp>
 E-mail: soshiki@tokachi-kin-ikyo.or.jp

第30回十勝健康まつり

今年で30回目を迎えた十勝健康まつりはあいにくの雨天となり、十勝勤医協老人保健施設ケアセンター白樺内での開催となりました。急な会場変更となりましたが、近隣地域内外から幅広い年齢層の住民のみなさんが訪れました。

10時の開会に先立ち、深町知博実行委員長の挨拶、帯広市保健福祉センター館長の五十嵐ゆかり氏よりご挨拶をいただきました。

その後、合唱団エルデの皆さんの合唱、ギーベルトリオさんのハーモニカ三重奏、旭楽器ヤマハ音楽教室の皆さんによるエレク

トーン演奏が会場を盛り上げました。今回も、帯広市内の医師(計4科)のご協力をいただいた無料健康相談、健康や病気の予防等をテーマにしたパネル展示を例年通り行いました。また、今回初めて行った



▲関係団体による模擬店



▲ヤマハ音楽教室によるエレクトーン演奏



▲リハビリ体験する参加者



▲無料健康相談の様子



▲合唱団エルデによる合唱



▲ギーベルトリオによるハーモニカ三重奏



▼好評だった頸動脈エコー検査

頸動脈エコー体験は大好評で、予定していた予約枠があつという間に埋まってしまいました。施設内となった会場では、リサイクル品、野菜、飲食物等の販売も行われ、多くの方が買い物や飲食を楽しむ姿が見られました。抽選会では、ドリームタウン白樺内店舗

よりご協力いただいた商品をはじめ、各種商品券、ギフトセット、特賞のメロン等様々な商品が出され、司会者から当選番号が発表されるたびに歓喜やため息が上がり、おまつりをさらに盛り上げてくれました。

【総会事務局 池田大輔】

第30回十勝健康まつり(実行委員会主催)が6月16日、ドリームタウン白樺(白樺16西2)で開催されました。内科の医師等による無料健康相談やステージ企画、健康チェックなど600人を超える人たちがにぎわいました。

聴診器

▼友の会連絡会第28回定期総会が開催された。十勝勤医協の設立を前後して各地に友の会が設立され、共同のパートナーとして活動を行って来た▼「住み慣れた地域で安心して暮らす」ことを願って、様々な活動を行って来た友の会の活動が生き生きと語られた▼友の会9条の会では、戦争体験を伝える取り組みや、民生委員の活動を通して会員や住民の生活に寄り添った活動。「みんなの広場」は子供や大人の活動で地域の絆をつくります▼勿論、各地の友の会では、ニュース宅配時の「ひと声かけ活動」や健康づくりや居場所づくりとして「ふまねつと」や「オビロビ」、「朝ウオーキング」、「笑いヨガ」、「サロン」など▼対象を会員だけでなく地域住民に呼びかけた活動を意識して取り組まれている▼帯広市の65歳以上の高齢化率は28・5%になった。町村では40%になる町も：過疎と高齢化の急激な進行のなか、友の会活動にも困難が生まれている。反面、友の会の活動がその「存在意義」をますます確かなものになっている▼自民党は憲法9条に自衛隊の存在を明記した加憲を発議しようとしている。海外での無制限の武力行使が可能になる▼憲法9条が変われば憲法25条も形骸化される▼7月は参議院選挙が行われる。争点は沢山ある。憲法改悪、辺野古への基地建設、社会保障の改悪等々。安倍政治に審判を下す絶好の機会。多くの人と思いを語ろう熱い夏にしよう！ (鉄)

シリーズ

憲法があぶない

子どもの頃、週刊少年ジャンプに「はだしのゲン」が載っていた、毎週のように読んでいた。そこで原爆の怖さ、戦争の恐ろしさを知り、それに伴って、市民の反応の変化に気づいたような気がする。

その「はだしのゲン」がなかなか単行本にならなかった。そのうち教員となっていた。

地域で映画の自主上映を取り組む内に「はだしのゲン」実写版、アニメ版の自主上映する機会を得て、上映することとなった。

子どもたちにとって、映像を通して戦争とは何か、わずかもしれないけど知る契機になったのではないかと思う。

学校現場では、多くの学校で「平和学習」を取り組み、「平和集会」

「戦争を学ぶ」などで戦争体験者、被爆された方たちから貴重な話を聞くことがあった。しかし、今、「学力向上」を優先に考える風潮が蔓延し、なかなか「平和」を考える場面がなくなっているように感じる。

先日、久々に自主映画に取り組んだ。「明日へ」戦争は罪悪である「は、日本の青空シリーズの最新版で、「戦争で人殺しだけはあるな」と説いた僧侶の話である。

目標を上回る観客に観ていた、多くの方から「いい映画だった」との感想が多く寄せられた。と同時に「若い人に観て欲しい」「多くの人に見せたい映画でした」という声が数多く聞かれた。チャンスがあれば、もう一度取り組んで、多くの若者に観てもらいたいと思う。

「戦争」となった場合、若者は戦争の当事者となる可能性が十分ある。戦争に進むのかどうかは、選挙によって決められるわけで、「知らないうちに決まっていた」では済まされない。映画の中で「黙っていたら戦争に賛成したのと同じだ」という場面があったが、子どもたちが判断できる材料を私たち大人が（戦争に）いくつもり考えて、示していく必要があると思う。

戦争ではなく、平和な社会を築くために、「私たち大人がよりつながりを強めていくことが大事」と映画を通じて思った。

【音更東友の会 守屋敏紀】

第28回 友の会連絡協議会総会



第28回友の会連絡協議会総会が5月26日(日)、帯広市内「とかちプラザ」で開催され、36友の会から代議員82名(代議員定数107名)、職員9名が参加しました。

来賓として、日本共産党十勝地区委員会常任委員杉野智美氏、十勝勤労者医療協会理事長深町知博氏よりそれぞれ挨拶を頂き、その後2018年度の活動総括と2019年度の方針提案を行いました。

討論では、3000万署名の取り組み、オスプレイ飛行反対行動報告、地域の困難事例やボランティア、担い手づくりの課題など計7つの発言がされ、会場からは、各地の取り組みに対しての拍手や共感、問題意識の共有が出来てよかったとの声が聞かれました。

また十勝勤医協からは、青年職員の活動であるジャンボリー活動の紹介と、反核・平和自転車リレーへの協力について、介護保険制度の活用事例と十勝勤医協の介護事業の紹介がありました。提案された全議案は満場一致で採択されました。

【総会事務局 池田大輔】

十勝勤医協 第41回 通常社員総会



5月18日(土)、十勝勤医協第41回通常社員総会が農協連ビルで行われ、地域社員・職員社員58名が参加し、2018年度の地域の取り組みや医療・介護現場で奮闘した職員の活動などを振り返り、2019年度の活動方針を決定しました。

理事長挨拶では、柳町医院の閉院に関して十勝と北海道民医連の医師事情と後継者対策、新年度の各事業の方針と課題について話されました。また、自民党の憲法無視の政治手法と憲法違反の横行や憲法がないがしろにされている現実を直視し、7月の参議院選挙で勝利し憲法を私たちの手に取り戻す固い決意が語られ、社員一丸となつてこの一年を乗り越える決意が示されました。

討論では地域友の会、職員の取り組みについて15名から発言がありました。地域社員からは、地域

独自で取り組んでいる活動、地域医療研修医の受け入れ、民生委員として関わった地域の困難事例紹介、高すぎる国保料改善の運動等の報告がありました。

職員からは、柳町医院のこれまでのあゆみ、病院薬剤師の新たな取り組み、老健認知症棟における看取り実践や各事業所の特徴的な医療・介護活動の報告がありました。

また青年職員からは、地域と共に取り組んでいる民医連運動、協力共同の大切さについての発言がありました。

いのちを守ることを使命とする医療・介護の団体として、憲法・平和・人権を守り抜く十勝勤医協の役割と存在意義を発揮し、職員、地域、共同組織が力を合わせ、民医連の事業と運動を継続し発展させていくことを確認しました。

【本部事務局 池田大輔】



あなたと民医連をつなぐ月刊誌

いつでも元気

MIN-IREN

2019 7月号 380円

好評発売中

巻頭エッセイ／八木啓代さん

けんこう教室 難聴と認知症

オリンピック選手村疑惑

素顔の平壤

まちなちカラ 群馬県嬬恋村

食と健康 夏バテと熱中症予防



発行＝神保健康医療研究所 〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター8階 電話 03(5842)5656(代表) FAX 03(5842)5657

今日から
使える
ためになる！

知ってトクトク 制度と情勢

ここではわかりづらい医療や介護の制度のコト、社会情勢のコトなど知っていると誰かに伝えたいような情報を、事務職員が全12回発信していくコーナーです。

第3回 国民健康保険(国保)問題について

ファーマケア+勝 江口 献

国民健康保険(国保)は、医療を受ける権利を国が保障する社会保障制度の1つです。国保は国民どうしの「助け合い」ではなく、憲法25条に基づく国民健康保険法によって「受診する権利」「健康になる権利」「生きる権利」を保障するものです。しかし今、国保の保険料は加入者所得の2割を占め、多くの国民が医療から遠ざけられ、いのちさえも奪われる深刻な事態に直面しています。

1. 国民健康保険(国保)とは

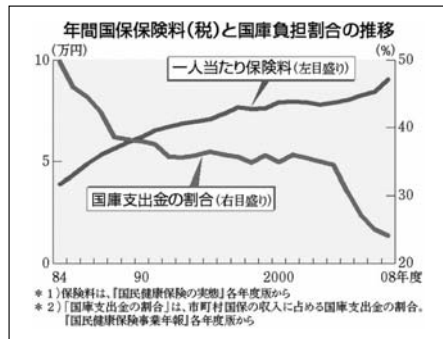
国保とは「国民健康保険」の略称で、人びとの医療を受ける権利を公的責任で保障する公的医療保険の1つです。その運営のために国保負担も投入され、国の社会保障として運営されています。国保は、自助や相互扶助では決して支えることができない人々の医療保障を図り、「受診する権利」「健康になる権利」「生きる権利」を保障するために、国民すべてが何らかの公的医療保険制度に加入する「皆保険制度」の土台として整備されてきました。国保法は、国民の生存権を定めた憲法25条に基づく法律です。

最後の受け皿、国保加入者の8割が「無職」と「ワーキングプア」

国保加入者の世帯主で最も多いのが「無職」43.9%、次に多いのが「被用者(労働者)」34.4%で、合わせて約8割にもなります。農林水産業、自営業者の加入者は減少し、「被用者」の増加は、派遣などの非正規労働者の増大が影響していると思われる。

2. 高い国保料

国保は、多くの国保加入者の不安定な収入を補うため、国庫負担によって制度運営を安定させてい



ました。年々高くなる国保料(税)の主な原因は、国庫負担率がこの30年余りで半分に引き下げられたことによるものです。国庫負担が減額されると、加入者に負担と責任が転嫁されて国保料(税)は上がります。現在は加入者の約8割が高齢者などの「無職」、派遣・非正規などの「被用者」です。国庫負担を引き上げなければ国保制度は維持できません。

3. 国保の「都道府県単位化」について

目的は医療費の削減

2018年度から、国保の保険者がこれまでの市町村に都道府県が加わり、都道府県が財政運営の責任を担うようになりました。

これは、都道府県に国保財政の運営責任を負わせ、「医療費適正化計画」による給付費抑制や、「地域医療構想」による病床削減などの権限をすべて都道府県に集中し、一体的施策として医療費削減を強力に押し進めるための仕組みづくりです。

4.9万円の値上げの危険

日本共産党が「標準保険料率」を発表している都道府県(1429市区町村)で市区町村が「標準保険料率」通りに国保料(税)を改定した場合の負担額についてモデル世帯をおいて試算したところ、全国の8割の自治体で平均49,000円の大幅値上げとなることが明らかになっています。

4. 医療の実態

国保の都道府県単位化、保険料の値上げ、保険料滞納による短期保険証、資格証明書の発行、差し押さえ処分の強化などで実態は、「保険があっても医療を受けられない」「国民健康保険法の目的が果たされていない」「生存権を定めた憲法25条違反」などの深刻な問題に直面しています。

5. 国保改善に向けた要求を参議院選挙で示す

参議院選挙でもこの問題を大きくクローズアップさせて、制度改善や引き下げなど、要求にこたえない議員は選ばない、選挙で変える、そういう運動が必要です。



6月8日(土)に『調理レクリエーション』を企画し、その日の昼食を利用者さんと一緒に作りました。女性の利用者さんには、野菜を切って頂き、男性利用者さんは、ジンギスカンを焼いて頂きました。20年前から息子さん夫婦と同居されてから台所に立つことがなくなったと話すAさんもおさずがベテラン主婦。包丁を持てばお手の物。人参はみじん切り、玉ねぎ、キャベツは手早く千切りにしてあつと言う間に野菜の準備は完了。「私もまだまだ出来るのよ」と笑顔で話されていました。奥さんを亡くされてから一人暮らしとなったBさんには、大きなお鍋でうどんとお肉、野菜をまぜて頂きました。「こんな俺だつてやれば出来るんだぞ」と冗談交じりで皆さんを笑わせてくれました。他にはスープとおにぎり、果物の盛り付けも利用者さんに手伝って頂き、昼食には皆さんで作ったジンギスカン定食を食べました。長年一人暮らしのCさんは「普段一人でジンギスカンなんて食べられないわ。とっても美味しい」と喜んで頂きました。今後も可能な限り利用者さんが楽しんで頂けるような、行事や調理レクリエーションを行っていききたいと思います。

【デイサービスズラん所長 村上あゆみ】

ズラん ジンギスカン定食作り

ズラん

ジンギスカン定食作り

また、在宅復帰後も課題に合わせた医療が生活支援と一体的に提供できないのか、地域医療連携室という専門の部門が患者さんの立場に立つサービス提案をしています。

まだ帯広病院として課題もありますが、スタッフ全員が今現在で精一杯のことが出来るよう奮闘しています。

【帯広病院リハビリ主任 星山等】



帯広病院

地域包括ケアとの連携

今、帯広病院で力を注いでいる一つに地域包括ケアがあります。

入院中の患者さんが、可能な限り住み慣れた地域や、地域内で医療・介護のサポートを受けたいと考えている高齢者の方に、個々人の意向に合わせ「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が提供されるのが地域包括ケアです。

地域包括ケアで重要視されているのが、専門職による連携です。患者さんそれぞれに合わせ、医師・看護師・リハビリ技師などが必要な医療は何かを日々情報を交わしながら、入院中の病態変化や急変、機能回復に対応しています。

友の会連絡会「ナー」 ☎〇二五五・二二・四二四四

生き生き広場

栄総会を終えて

栄友の会

去る5月11日(土)栄福祉センターで栄友の会2019年度総会を開催しました。

総会では18年度の事業報告と決算報告、19年度の事業計画案と予算案が提案され、事業計画は年度内最低2回の健康相談会の開催、日帰り旅行を秋に、健康づくり「ふまねつと」を毎月の第3

水曜日に行くことを決めました。とりわけ「ふまねつと」は最近参加者が増えつつあり継続は力なり！と、引き続き実行します。この他、栄友の会のニュースを発行して会員さんへ事業を支える活動として「拭き布」「リン

グブル」の回収の協力をお願いしてます。協力者も増えてきました。これらを確認して、会員を増やす、宅配を増やす、「いつでも元気」の読者拡大も合わせて確認されまし

音更東友の会総会を終えて

音更東友の会

今年の総会は、例年よりも一カ月ほど遅く開催することになり、5月14日、午前10時より、共栄コミセンにて行いました。総会では、この一年間の活動を振り返って話し合いました。

特に音更東友の会にとつては「柳町医院の閉院は一大事であった」という率直な意見があり、「柳

た。総会終了後は懇親会を行いました。

【栄友の会 佐藤久輝】

頭の体操

次の□に漢字を入れて熟語をつくり、□の漢字を並べ替え□の中に入れて、答えを完成させてください。

出題は霜村英靖さん(帯広市)です。

前 □ 角
先 □ 上

全 □ 臭
力 □ 行
節 □ 業
縦 □ 業

【ヒント】
楽しみながら問題を解いて認知機能を高めましょ

【答え】

□の□□

(漢字でご記入ください)

【応募方法】

解答とお名前、住所、電話番号をハガキかメールで、左記へお送りください。

【宛 先】

○郵 送

〒080-00019

帯広市西9条南11丁目

十勝勤医協会館内

友の会ニュース編集部

○メール

soshiki@tokachi-kin-

kyo.or.jp

【賞 品】

抽選で10人の方に、千

町医院はみんなで作った病院で「会員で支えた病院だった」患者にとつては歩いて行ける病院で「再開されることを願っている」と切実な思いが出されていました。

閉院に伴って、会員より退会希望の声もありましたが、友の会の意義から考えて、引き続き会員の拡大が大事で、事務局長の菅原さんから「世話人とは何か」という事で「六つの柱」について話して頂きました。

話し合いでは、「東友の会ニュース」をイベント等の事前の案内だけでなく報告(結果)も載せる

【締め切り】
7月20日(当日消印有効)。発表は第424号(9月号)紙上です。

【第420号の当選者】

答えは「端午の節句」でした。

応募総数142通、正

解者139通の中から抽

選により、次の10人の方

が当選しました。(敬称略)

阿部路子 大久保美恵子

桜田みゆき 田澤幸恵

星 勝子 (帯広市)

西田幸雄 (幕別町)

山口美代子 (芽室町)

吉田淑恵 (上士幌町)

小澤登美子 (本別町)

鈴木珠世 (広尾町)

と催し物の様子も伝わるのではないかな。また、「今まで柳町医院行ってきた健康相談会が今後は出来なくなる。これからは個人宅でお茶飲み友達を誘うように小さな相談会を中心に行う」というのはどうか」など意見が出されました。

総会の最後に新役員が選出され、長い間事務局長として活躍された菅原さんが、新会長となったことが報告され閉会となりました。総会後会食し、後半には、食を通じる映画として、宮沢賢治のDVDを鑑賞しました。「幸せを分かち合うこと」こそが自らを理想とする生き方というテーマでコロ

ツケを家族のみんなに振る舞う姿に共感していました。

【音更東友の会事務局 守屋敏紀】

緑西友の会総会が終わりました

緑西友の会

6月8日緑西友の会総会が38名の参加で開催されました。友の会連絡会の



村上副会長のあいさつで始まりました。昨年度は「誰でもが安心して住み続けられるまちづくり」をめざし、「笑いヨガ」「バランスのよい食事してま

すか？」をテーマに健康相談会、朝のウォーキング、特定健診・大腸ガン

検診の呼びかけ、久美ちゃんちのおしゃべり会、日帰り旅行、「いつでも元

気」読者会等を実施してきました。今年度も会員13名、「いつでも元気」2

部を増やすことを目標に健康相談会、日帰り旅行、読者会等楽しい計画を

しましょうと、みなさんの拍手で承認されました。その後の交流会では十

勝マジック愛好会の中西さんのマジックに目を白

黒させ、歌、ビンゴゲームなどで楽しい時間を過ごしました。

【緑西友の会 村上久美子】

各友の会連絡先

- 【音更東】 守屋 敏紀 ☎一五五・二二・三〇八四
- 【音更西】 増田 浩毅 ☎一五五・三〇・八八六〇
- 【音更南】 坂本 恵子 ☎一五五・三二・六二六三
- 【音更北】 中嶋 晴子 ☎一五五・四二・二一九九
- 【土 幌】 和田 鶴三 ☎一五五・四七・四四三五
- 【上士幌】 山本 政俊 ☎一五五・四二・三〇八九
- 【新 得】 土山 武志 ☎一五五・六四・四七一六
- 【清 水】 田中 けい子 ☎一五五・六三・三〇五六
- 【鹿 追】 武田 耕次 ☎一五五・六六・二二七六
- 【芽 室】 梅津 美政 ☎一五五・六二・二八五九
- 【中札内】 西村 和正 ☎一五五・六七・二七七四
- 【更 別】 大津寿美香 ☎〇八〇・八四・八三八七
- 【大 樹】 有岡千恵子 ☎一五五・八七・五二二八
- 【広 尾】 前崎 茂 ☎一五五・八二・四三三〇
- 【幕 別】 小林 正明 ☎一五五・五四・五二二一
- 【札内東】 鈴木志摩子 ☎一五五・五八・六七五七
- 【札内西】 岡崎節子 ☎一五五・五八・四四三二
- 【忠 類】 増田 武夫 ☎一五五・八八・二六〇七
- 【豊 頃】 岩井 明 ☎一五五・七四・二六三四
- 【池 田】 吉田 清治 ☎一五五・七二・八六一〇
- 【本 別】 阿保 富男 ☎一五五・二二・二七五六
- 【足 寄】 田利美智子 ☎一五五・二五・四〇〇〇
- 【陸 別】 黒沼 明美 ☎一五五・二七・二六六七
- 【東 川】 山口久美子 ☎一五五・二七・七六二
- 【柏 木】 加藤 昌明 ☎一五五・五〇・八四
- 【光 南】 村上やよい ☎一五五・五五・八八
- 【鉄 南】 牧野美智子 ☎一五五・七・八九六五
- 【中 央】 田村力オリ ☎一三二・二六・〇七
- 【栄 川】 及川 洋子 ☎〇九〇・五二・三三三三
- 【開 西】 岡本 顕 ☎〇九〇・六四・四六五二
- 【西帯広】 野坂 潤子 ☎三七一・二七・二九
- 【西 南】 麻生 恵子 ☎二二二・一六・一三
- 【緑ヶ丘】 片石 祐一 ☎三三二・一四・四三
- 【白 樺】 高宮 裕 ☎三三二・一四・四三
- 【新 緑】 齋藤 光枝 ☎〇九〇・七五・〇一五五
- 【柏 林 台】 横塚恵利子 ☎四一七・七九・九〇
- 【緑 西】 村上久美子 ☎三三二・六八・五二
- 【稲田北】 平 麗子 ☎四八八・〇七・一五
- 【稲田南】 藤田 功 ☎四八八・六九・五一
- 【川 西】 伊沢佐恵子 ☎六〇二・二五・〇六
- 【大 正】 岡山 幹男 ☎六四一・五九・五三